

令和5年度

武蔵野市非核都市宣言平和事業の記録



平和の日イベント講演会
「紛争地、被災地に生きる人々の声
～取材から見てきたこと～」



夏季平和事業
「平和を願うコンサート」



武蔵野市非核都市宣言
平和事業実行委員会研修会



憲法月間記念行事講演会
「誰もが素敵に生きるための憲法の役割
～みんなで考えよう！～」

武蔵野市 非核都市宣言平和事業実行委員会

平和の日メッセージ

昭和19年（1944年）11月24日、武蔵野市が初めて空襲を受けてから、79年が経ちます。

当時この地には、ゼロ戦などの戦闘機のエンジンを製造していた中島飛行機武蔵製作所という軍需工場がありました。この工場は東洋一と言われるほど大規模で、米軍による本格的な本土攻撃の第一目標となりました。終戦までに空襲は9回を数え、工場関係者200名以上が犠牲となり、周辺地域でも多くの住民が巻き添えとなりました。

武蔵野市では、この空襲で犠牲になられた方々に哀悼の意を表するとともに、戦争の記憶を継承し、平和の尊さを次世代につないでいくために、平成23年に武蔵野市平和の日条例を制定し、初空襲のあった11月24日を「武蔵野市平和の日」と決めました。

武蔵野市平和の日条例の前文には、「市民とともに国際相互理解の推進に努め、恒久平和の実現を目指すことを誓う」とあります。

未来の子どもたちに戦争も核もない平和な世界を継承していくために、国内外の自治体と連携し、これからも戦争の悲惨さと平和の尊さを武蔵野市から積極的に発信し続けてまいります。

戦争を体験された方から直接体験談を聞く機会も大変貴重になっています。今年は戦争体験者の方々から直接伺ったお話を記録した「武蔵野から伝える戦争体験記録集第IV集」を発行いたしました。

また、これからの平和施策などを検討していくため、今年7月に学識関係者や公募委員で構成する、平和施策のあり方懇談会を設置し、（様々な）ご意見を伺っているところです。

私たちには、「体験の記憶」を語り継いでいく使命があります。貴重な記憶を風化させず、未来へつないでいくため、今後も若い世代に武蔵野の空襲の歴史や戦争体験の記憶を継承しながら、戦争の悲惨さ、平和の尊さを伝えていく活動を市民の皆さまとともに取り組んでまいります。

2023年11月24日 武蔵野市長

ま え が き

武蔵野市議会では、昭和 57 年 3 月 29 日に非核都市宣言を行いました。

平成 19 年には、その宣言から 25 年を迎えたことを機に、地域・平和団体、大学生、公募市民などで構成する非核都市宣言 25 周年記念事業実行委員会が設置され、翌 20 年に現在の「非核都市宣言平和事業実行委員会」となり、それ以降、写真パネル展や映画上映会、講演会、子ども向けイベントの企画・運営など様々な平和啓発事業を実施してまいりました。また、平成 23 年には、中島飛行機武蔵製作所が初めて空襲を受けた 11 月 24 日を「武蔵野市平和の日」とする条例が制定されました。

令和 5 年度は、憲法月間記念行事、夏季平和事業、平和の日イベントに加え、戦争の悲惨さや平和の大切さを若い世代の方たちにもより分かりやすく継承していけるよう、「武蔵野から伝える戦争体験記録集第Ⅳ集」と戦争体験者へのインタビュー等を収録した平和啓発用映像を作成しました。

また、市として、これからの平和施策などを検討していくため、平和施策のあり方懇談会を設置し、市民や有識者からご意見を伺い、報告書としてまとめました。

戦争体験者の高齢化により、直接戦争体験のお話をうかがう機会も少なくなっています。一方、平和をめぐる世界情勢の不安定化、市民の生活環境の変化等があるなかで、さまざまな平和関連イベントを通して、次世代へ戦争の悲惨さと平和の尊さを語り継ぎ、平和への意識を高めてまいります。

本書は、令和 5 年度に行われた非核都市宣言平和事業の記録集です。

目 次

I 令和5年度 武蔵野市非核都市宣言平和事業の実施状況

1	憲法月間記念行事・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	夏季平和事業『戦争も核もない世界を武蔵野から』・・・・・・・・	2
3	平和の日イベント『戦争も核もない世界を武蔵野から』・・・・・・・・	3
4	武蔵野から伝える戦争体験記録集第Ⅳ集の作成・・・・・・・・・・	4
5	平和啓発映像「戦争の記憶を平和な未来につなげるために」の作成・・・	5
6	実行委員会の開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
7	武蔵野市平和施策のあり方懇談会・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7

II 令和5年度武蔵野市非核都市宣言平和事業実行委員会に

参加した実行委員からのメッセージ・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
------------------------------------	---

令和５年度 武蔵野市非核都市宣言平和事業実行委員会 委員名簿

選出分野	氏名	団体名
市民団体・大学生	高橋 淳子	武蔵野市コミュニティ研究連絡会
	内田 篤	武蔵野市市立小中学校ＰＴＡ連絡協議会
	木川 憲子	武蔵野老人クラブ連合会
平和関連団体	牛田 守彦	武蔵野の空襲と戦争遺跡を記録する会
	中里 崇亮	世界連邦運動協会 武蔵野支部
	木岡 紀久代	武蔵野けやき会
	田村 恭子	武蔵野市国際交流協会
公募委員	猿渡 彰	市内在住
	北山 征一	市内在住
	小餅 友子	市内在住
	高橋 智香	市内在住
	横山 耕平	市内在住
戦争体験者	島津 好江	市内在住

I 令和5年度 武蔵野市非核都市宣言平和事業の実施状況

1 憲法月間記念行事

(1) 憲法月間記念行事作品募集

内 容：書道、絵手紙・イラスト

応募状況：書道 159点 うち優秀賞2点、入選16点

絵手紙・イラスト 41点

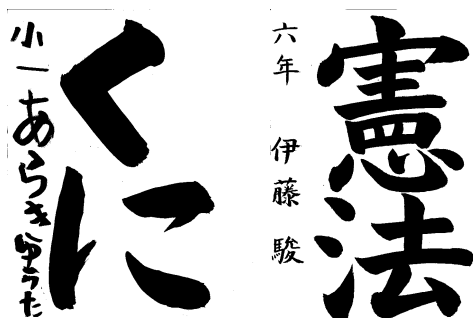
うち優秀賞2点、入選3点、実行委員会賞1点

表 彰：5月21日（日）記念行事にて、優秀賞4名を表彰

展 示：①市役所ロビー 4月24日（月）から5月10日（水）（全作品）

②公会堂ロビー 5月21日（日）（入賞作品のみ）

優秀賞作品（敬称略）



荒木 悠汰

伊藤 駿



山本 文子



渡辺 美恵子

(2) 憲法月間記念行事講演会

日 時：5月21日（日）午後1時30分から午後4時まで

場 所：武蔵野公会堂

内 容：憲法月間記念作品優秀賞 表彰式

講演会

「誰もが素敵に生きるための憲法の役割～みんなで考えよう！～」

講師 伊藤 真 氏（弁護士）

参加者：110名



(3) 横断幕の掲出

内 容：「憲法を学びみんなでつくろう平和な暮らし」の掲示

日 時：5月1日（月）から31日（水） 市役所

2 夏季平和事業 『戦争も核もない世界を武蔵野から』

(1) 写真パネル展の開催

（協力：武蔵野けやき会・武蔵野の空襲と戦争遺跡を記録する会）

内 容：広島・長崎の原爆、武蔵野の空襲と中島飛行機

① 市役所ロビー

日 時：8月1日（火）午前8時30分から10日（木）午後5時まで
（土日除く）

② 吉祥寺駅南北自由通路はなこみち

日 時：8月12日（土）午前10時から午後4時まで

③ 武蔵野プレイスギャラリー

日 時：8月18日（金）午前9時30分から21日（月）午後10時まで

(2) 映画上映会の開催

内 容：映画「この世界の片隅に」上映会

上映前に武蔵野市の平和施策に関する説明あり（5分程度）

日 時：8月19日（土）午後1時30分から4時まで

場 所：武蔵野プレイス4階フォーラム

参加者：93名

(3) 音楽イベントの開催

内 容：平和を願うコンサート

出 演：カテリーナ氏（バンドゥーラ奏者）

むさし野ジュニア合唱団「風」

日 時：8月20日（日）午前10時30分から11時30分まで

場 所：武蔵野スイングホール

参加者：128 名

(4) 横断幕の掲出

内 容：「戦争も核もない世界を武蔵野から

世界連邦に関する宣言 非核都市宣言 宣言自治体 武蔵野市」

期 間：8月1日（火）から31日（木）まで 市役所、市内3駅前

(5) 市民から寄せられた戦争関連資料展示（協力：延命寺）

内 容：防空頭巾や爆弾の破片、のぼり旗など

期 間：8月1日（火）から31日（木）まで 市役所正面玄関ショーウィンドー

(6) 市報での特集

掲載場所：市報8月1日号1面

掲載内容：映画上映会、平和を願うコンサート、パネル展の告知、

武蔵野から伝える戦争体験記録集第Ⅳ集の発行、黙とうのお願い

※その他 Facebook、LINE、FM むさしの等でも周知

3 平和の日イベント 『戦争も核もない世界を武蔵野から』

(1) 写真パネル展の開催（協力：武蔵野の空襲と戦争遺跡を記録する会）

内 容：武蔵野の空襲と中島飛行機

① 吉祥寺駅南北自由通路はなこみち

日 時：11月11日（土）午前10時から午後4時まで

② 武蔵野プレイスギャラリー

日 時：11月17日（金）午前9時30分から20日（月）午後10時まで

③ 市役所1階ロビー

日 時：11月24日（金）正午から30日（木）午後5時まで（土日除く）

(2) 横断幕の掲出

内 容：「平和への願いを込めて 11月24日は武蔵野市平和の日です。」

期 間：11月1日（水）から30日（木）まで 市役所、市内3駅前

(3) 市民から寄せられた戦争関連資料展示（協力：延命寺）

内 容：鉄カブト、入営祝いのぼり旗、遺族に贈られた証書等

期 間：11月1日（水）から30日（木）まで 市役所正面玄関ショーウィンドー

(4) 市内各コミセンなどにおけるミニミニ空襲パネル展

内 容：中島飛行機武蔵製作所と武蔵野の空襲

場 所：西久保コミセン、本町コミセン、桜堤コミセン、御殿山コミセン、
関前コミセン、けやきコミセン、西部コミセン、吉祥寺北コミセン

(5) 図書館での中島飛行機や戦争、平和に関する図書の設置

(協力：公益財団法人武蔵野文化生涯学習事業団)

① 中央図書館

期 間：11月6日（月）から20日（月）まで

② 吉祥寺図書館

期 間：11月11日（土）から25日（土）まで

③ 武蔵野プレイス

期 間：11月6日（月）から20日（月）まで

(6) 平和の日イベント 講演会

日 時：11月23日（木・祝）午後1時30分から午後3時30分まで

場 所：武蔵野公会堂

内 容：講演「紛争地、被災地に生きる人々の声

～取材から見えてきたこと～」

講師 安田 菜津紀 氏（フォトジャーナリスト）

参加者：170名



(7) 市報での特集

掲載場所：市報 11月1日号 1面

掲載内容：平和の日イベント講演会、パネル展の告知、黙とうのお願い

※その他 Facebook、LINE、FM むさしの等でも周知

4 武蔵野から伝える戦争体験記録集第Ⅳ集の作成

(1) 目的

戦争体験者の高齢化が進む中、武蔵野の空襲の歴史や市内在住者の戦争体験を記録し、次世代に伝える

(2) 構成

戦時中の体験や生活に関する証言 16 名

(3) 作成部数

1000 部

(4) 配布先

市政センター、図書館、各平和イベントにて配布

5 平和啓発用映像「戦争の記憶を平和につなげるために」の作成

(1) 目的

戦争の悲惨さや平和の大切さを若い世代の方たちにもより分かりやすく継承していけるよう、戦争体験者へのインタビュー等を収録し、イベントやホームページ等で公開することにより広く啓発を図る。

(2) 構成

・構成者による証言

戦時中の体験や生活に関する証言

出演者：木岡紀久代 氏（武蔵野けやき会）

秋山昌文 氏（武蔵野の空襲と戦争遺跡を記録する会）

中島敬子 氏（武蔵野から伝える戦争体験記録集第Ⅳ集に協力）

聞き手：高橋智香 氏（非核都市宣言平和事業実行委員会委員）

・市の平和に関する取組みの紹介

6 実行委員会の開催状況

回	開催日	主な内容
第1回	4月24日(月)	実行委員会の運営、実行委員長の選出について
第2回	5月12日(金)	憲法月間記念行事、夏季平和事業について
第3回	6月20日(火)	夏季平和事業、平和の日イベントについて 戦争体験記録集第Ⅳ集の発行について
第4回	7月18日(火)	夏季平和事業、平和の日イベントについて
第5回	9月1日(金)	夏季平和事業、平和の日イベントについて 平和施策のあり方懇談会について
第6回	10月27日(金)	平和の日イベント、憲法月間記念行事について 平和啓発用映像作成事業について
第7回	12月12日(火)	平和の日イベント、憲法月間記念行事について
第8回	令和6年 1月25日(木)	憲法月間記念行事、研修会について 市関連施設におけるイベントの日程及び場所について
研修会	3月5日(火)	・猿島（神奈川県横須賀市猿島） ・三笠公園（世界三大記念艦「三笠」） （神奈川県横須賀市稲岡町）
第9回	3月22日(金)	憲法月間記念行事、夏季平和事業、 平和施策のあり方懇談会の報告、 1年間の振り返りについて

7 武蔵野市平和施策のあり方懇談会

(1) 設置の経緯

戦後 70 年余り経ち、戦争体験者が高齢化し、戦争体験の直接の伝承が難しくなっていくことから、体験者の記憶を残し、次世代に伝えていく方法等を検討する必要があることや、世界各地で続いている国内・国際的な紛争などにより、市民の平和への関心、捉え方が変化してきていること等を踏まえ、今後の本市の平和施策のあり方について検討を進めるにあたり、市民や有識者から意見及び助言を求める場として、「武蔵野市平和施策のあり方懇談会」を設置した。

(2) 経過

回	開催日	主な内容
第 1 回	8 月 22 日 (火)	・ 懇談会の設置趣旨について ・ 本市の平和に関する取組みの経緯等について ・ 武蔵野ふるさと歴史館の取組みについて ・ 平和施策のあり方について
第 2 回	9 月 28 日 (木)	・ 平和に関する小・中学校における取組みについて ・ 本市の多文化共生・交流事業に関する取組みについて ・ 中高生世代からの意見聴取について ・ 平和事業の課題について
第 3 回	11 月 22 日 (水)	・ 中高生世代からの意見聴取について ・ 今後、本市で実施すべき取組み、方向性について
第 4 回	12 月 26 日 (火)	・ 今後、本市で実施すべき取組み、方向性について ・ 報告案（素案）について
第 5 回	令和 6 年 1 月 24 日 (水)	・ 報告案について

Ⅱ 令和5年度武蔵野市非核都市宣言平和事業実行委員会に 参加した実行委員からのメッセージ

世界連邦運動協会武蔵野支部 中里 崇亮

私は世界連邦運動協会の会員の立場から平和事業実行委員会に参加させてもらっています。世界連邦運動協会の目指すところは世界連邦を創設し、紛争・環境破壊・難民・飢餓など、国家を超えた問題を解決していくことです。世界連邦実現により、世界の人々が国家・宗教・民族などの違いを超えて手を携える日が来ますよう、共に頑張っていきたいと思っています。

今年は、中島飛行機武蔵製作所を第一目標として実施された1944年11月24日のマリアナ諸島からのB29による日本本土の初空襲八十年の節目の年になります。

私は1936（昭和11）年生まれ、満8歳・国民学校二年生の空襲体験は忘れることは出来ません。

周りに住む空襲体験者もますます減少しています。私も八十七歳となり耳目が不自由になり活動が鈍くなりました。

武蔵野の空襲と戦争遺跡を記録する会の活発な活動のお陰で平和観音と北村西望の平和の鐘の見学者が多くなりました。戦争遺品の調査、記録についてもご協力をいただき進展致しました。市民の中にも遺品や写真を持っている話を聞きます。これらのものを市指定平和文化財等として指定できないかと思います。

公募委員 小餅 友子

みんなで考えましょう「次世代に残すもの」

今年度は戦争がないだけが平和という単純な思いだけでなく、もっと様々な杞憂が増え、平和事業の取り組みに例年と少し違った思いを感じました。

唯一の被爆国、平和憲法を持つ国民として、専守防衛という言葉に騙されることなく次世代に残すものを間違えないようにと願うばかりです。軍隊、戦争があっては、国民が幸せにはなりません。大きな声で威圧したり押し付け合ったりする決定ではなく穏やかに話し合うことによって安心して、暮らしやすい毎日を築いていくことが重要だと強く感じる年となりました。

子どもや、孫にバトンタッチするものは、武器や戦争ではなく、大切な生活の基盤となる環境です。誰もが温かい生活のできるよう環境を意識していきたいものです。

武蔵野市コミュニティ研究連絡会 高橋 淳子

武蔵野市非核都市宣言平和事業実行委員会に参加して、平和事業や平和の日イベントに関わることができました。ありがとうございました。

研修会で横須賀の記念館三笠の見学、猿島を歩いて体験して戦時中のことを想像し、今、平和に暮らす私達の普通の日々のありがたさを更に実感しました。

そして、戦争体験をした方のお話や戦争遺跡を保存すること、次世代に継承していくことはとても大事なことであり、これからも平和の尊さを次の世代の方々に伝える努力をしなければいけないと思いました。

武蔵野市市立小中学校PTA連絡協議会 内田 篤

私は、令和5年度に初めて非核都市宣言平和事業実行委員会に参加させて頂きました。

実行委員として、夏季平和事業では、映画「この世界の片隅に」の上映や、平和の日イベントでの安田菜津紀氏の講演会の運営に参加致しました。いずれも多くの方にご来場頂くことができ、市民の皆様の平和への関心の高さを強く感じました。

武蔵野市には、旧中島飛行機武蔵製作所跡があり、先の大戦では空襲のために甚大な被害を被ったという歴史があります。

そのような歴史をもつ武蔵野市から、戦争や紛争の絶えない世界に向けて、平和を訴え続けることの大切さを強く感じた一年でした。

武蔵野の空襲と戦争遺跡を記録する会 牛田 守彦

この1年でもっとも印象に残ったのは、横須賀への研修(猿島および戦艦三笠)とそれを踏まえた最後の委員会における委員長のご感想です。日本が日露戦争に「勝った」ことが、日本のその後の戦争につながる、ある種の日本人の認識の歪みにつながったのではなかったか、という趣旨のことを述べられました。言葉は正確ではないかも知れませんが、私がかねてより同様な問題意識を抱いておりましたので、たいへん共感しました。今後、ぜひ学び合っていきたいと思いました。

武蔵野けやき会 木岡 紀久代

79年前、広島、長崎で、一瞬にして21万人の人達が命を奪われました。

今現在、ロシアによるウクライナ侵攻、「戦争も核もない世界に」でもますます広がり続けています。

非核都市宣言を掲げられた市の平和事業の活動に携わりいろいろ勉強になりました。

この1年ありがとうございました。

武蔵野市国際交流協会 田村 恭子

世界における戦争状態は、縮小するどころかエリアの拡大に転じています。日本で戦争体験者の生の声の希少性がいっそう増す中、令和5年度の平和事業ではカテリーナさんがウクライナ侵攻の現状を語る声、平和を願う歌声、安田さんによる紛争地や被災地の取材レポート等から、平和の尊さを訴えかける現在進行形の声を聴くことができました。平和事業実行委員として、委員のお仲間、来場者の方とともに現在の世界の惨状に目を向け過去の日本の惨状を「今と地続きの事」として更に実感できた気がしています。1年間ありがとうございました。委員会の活動がより広い波及効果に繋がるよう、これからも可能な活動を続けたいと思います。

公募委員 猿渡 彰

まずは一年の活動を支えて下さった市民活動推進課、これまでのこの活動を支えて来られた各委員の方々にも敬意を表したいと思います。その上で私が感じました平和事業実行委員会の問題点を指摘したいと思います。

1、年間の活動がルーティーンワーク化している。しかし令和7年は終戦80年の節目に当たる事からこれまでとは違う取り組みが必要と考えます。

2、現在全く行われていない小中学生向けの活動、具体的には小学生向けの展示パネルと子供向けパンフレットの制作。

3、より広く市民に非核宣言都市平和事業を知ってもらうために夏休み期間に文化会館小ホール規模のファミリーコンサートを開催し一部選曲に平和活動の趣旨を織り込む。

これらの活動には予算処置など令和7年の委員会発足前に行う必要がありますので市民活動推進課にてよろしく願います次第です。

一年間ありがとうございました。

公募委員 北山 征一

実行委員を引き継いで

2023年度も平和事業実行委員会へ公募委員として参加できて良かったと思います。やっとコロナ禍での制約がなくなってきた、日常の活動が出来るようになったこの一年ですが、様々な平和啓発事業を行なってきたと思いますが、自分にとっては、イマイチかなと反省しています。憲法月間記念行事など、夏季平和事業など、色々な団体に参画している私ですが、この一年は、何とかこの委員会の事業には欠席することなく、参加したつもりです。この間の講演会などは、いつものベテランの方が行っていた司会を若い人が積極的に引き受けて成し遂げられたのは、顕著な特徴かと思っています。

まだまだ、最近の戦争状態のきびしい情勢を打破するために、武蔵野から平和を訴える為に委員会が行動することが必要だと思うし、その一翼を再び担って行きたいと思います。24年度も公募委員に当選したので頑張ります。

公募委員 高橋 智香

委員の活動に参加し、たいへん有意義なひとときを過ごすことができました。

微微たる力添えしかできなかったことを反省しつつも、20代として会に参加し、平和や戦争についてその場で感じたこと、考えたことを言葉にして伝えられたこと、市民活動とはなんたるや、の一端に触れられた気がします。

こうした制限のない活動の場が、先の大戦の頃にあつたら、と考えるを得ません。

一市民にできることは限られていますが、この記憶を忘れず、今後も年を重ねてゆきたいです。

末筆ながら、多様性の観点でも、委員に若い人が増えるとよいかなと強く感じます。

興味を持ってもらう方法を、私自身も模索したいと思います。

公募委員 横山 耕平

当実行委員会に参加して、丸二年が経ちました。本当に毎回大きな学びがあり、貴重な経験を積ませて頂いており、大変感謝しております。

いつも思うのは、戦争がないことだけが平和を意味するのではなく、日々の何気ない生活の中でも、皆が仲良く暮らすことができ、誰かが疎外感を感じることなく地域に溶け込んで、穏やかな気持ちで暮らせる社会こそが真の平和と呼べるものだということです。

もっと、「平和」の意義を広く捉えて、丁寧にかつ大胆に、当委員会が果たせる役割を考えていきたいと思います。

戦争体験者 島津 好江

非核都市平和委員会に始めよりお仲間に入って記念の日をきめました。当時の会長は井口秀雄さんでした。太平洋戦争で初めての爆撃（空襲の日）、11月24日、中島飛行機武蔵製作所が米軍より爆撃があつた日に決められました。

東洋一大きな製作所でした。

現在では市民の方々でも知らない方が多い様です。

大勢の工員の方でも亡くなりました。

二度とこの悲しみをくりかえさない様に、イベントなど行って、平和を理解していただきたいです。

武蔵野市非核都市宣言

戦争の惨禍を防止し、恒久平和を実現することは、全人類が切実に念願するところである。

核兵器保有国間で核軍拡競争が激化している今日、とりわけ核戦争を回避し、原水爆の恐れのない世界を確立することは、緊急かつ重大な課題である。

武蔵野市は、平和を希求する世界連邦に関する宣言都市として、人間が人間を滅ぼす危険を防ぎ、人類永遠の平和を樹立するため、非核三原則の完全実施を願い、最大限の努力を傾注するものである。

ここに、われわれは、平和のために貢献する決意を表明するとともに、武蔵野市が非核都市となることを宣言する。

昭和 57 年 3 月 29 日

武蔵野市議会

世界連邦に関する宣言

武蔵野市は、世界の恒久平和と人類永遠の繁栄を保障する世界連邦の建設に同意し、武力国家の対立を解消して、英知と友愛に基づく世界の新しい秩序の実現を希求する。人類最初の原爆被災国として、また戦争放棄を憲法に明記した国として提唱し得る最適の立場にあることを確信し、この宣言を行ない、他の宣言都市と相携えて、世論を喚起し、これを国政に反映せしめ、速やかに国家宣言を行うと共に、進んで現行の国連憲章の改正により世界連邦の実現を期するものである。右宣言する。

昭和 35 年 6 月 28 日
武蔵野市議会



令和5年度

武蔵野市非核都市宣言平和事業の記録

発行 令和6年7月

武蔵野市非核都市宣言平和事業実行委員会

武蔵野市市民部市民活動推進課内

武蔵野市緑町2丁目2番28号

電話(0422)60-1829 (直通)